

東京23区が
見える。わかる。

2020 AUTUMN

Vol.42

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特集

東京23区で楽しむ、 芸術と文化！

■東京23区で楽しむ 芸術と文化！

墨田区…すみだトリフォニーホール

江東区…ティアラこうとう

品川区…きゅりあん

目黒区…めぐろパーシモンホール

大田区…大田区民ホール・アプリコ

世田谷区…北沢タウンホール

■クマなくさんぽ

…日本が誇る文化「マンガ」そして「アニメ」の原点

豊島区 トキワ荘マンガミュージアム

■所蔵資料蔵出し

…「恐怖の病原体図鑑」



もっと活用しよう!

特別区自治情報

特別区制度改革20周年記念展示 「特別区制度改革—改正地方自治法施行から20年—」

こんなことしたよ

東京区政会館1階エントランスホールにおいて、「特別区制度改革—改正地方自治法施行から20年—」を令和2年8月25日(火)から10月1日(木)にわたり開催しました。

平成12年の改正地方自治法の施行により、特別区が「基礎的な地方公共団体」に明確に位置付けられてから20年を迎えました。

今回の展示では、特別区制度のあゆみを振り返るとともに、自治権拡充運動での特別区協議会所蔵の資料を紹介しました。また、問題に答えながら特別区の歴史が学べるクイズパネルの展示や特別区協議会が発行する刊行物の紹介を行い、特別区の歴史や制度に触れ、特別区の今後の自治のあり方について考える機会となる展示となりました。



展示会場外観



展示会場の様子



特別区誕生からの歴史

こんなことやるよ

東京都公文書館パネル展示 「守る・伝える 東京のアーカイブズ～ 東京都公文書館所蔵資料の成り立ち」

東京区政会館1階エントランスホールにおいて、公益財団法人特別区協議会と東京都公文書館との共催によるパネル展示「守る・伝える 東京のアーカイブズ～ 東京都公文書館所蔵資料の成り立ち」を開催します。

東京都公文書館は、昭和43年(1968年)に「公文書館」という名称を冠した資料保存利用施設としては全国で初めて設置されました。以来、半世紀以上にわたって、江戸時代から現代に至る記録資料=アーカイブズを収集・保存し、閲覧に供し、令和2年4月には、国分寺市泉町に新館を開館したところです。

今回のパネル展示では、その主な所蔵資料をご紹介します。個々の資料がもつ歴史的な意味と共に、なぜその資料が作成され伝えられてきたのかというアーカイブズ学的なアプローチもご覧いただければ幸いです。

展示
スケジュール

開催日:令和2年10月6日(火)～

11月9日(月)(日曜・祝日を除く)

展示時間:平日 午前9時～午後8時30分

土曜日 午前9時～午後5時

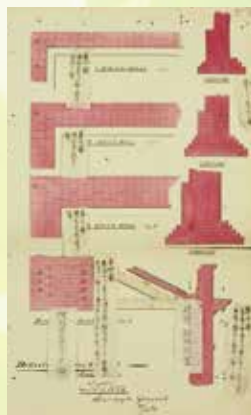
会場:東京区政会館1階エントランスホール
(千代田区飯田橋3-5-1)

※展示期間が変更になる場合があります。(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館いただようお願いいたします。



▲「旧江戸朱引内図」

1818年、拡張した江戸の範囲がわからなくなり、幕府が「御府内」の範囲を定めた際の絵図



▲「建築事務御用留」

銀座煉瓦街建築の際、ウォートルスが煉瓦の積み方を示した図



▲「東京都選挙管理委員会ポスター」

1946年4月、戦後初の選挙が実施され、女性参政権も実現。投票を呼びかけるポスター。

・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約10万冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

当センターの資料から読み解いてみよう！

おすすめのほんだよ



▶▶「恐怖の病原体図鑑」

ウイルス・細菌・真菌 完全ビジュアルガイド

2006年7月13日発行

現在、新型コロナウイルス感染症の大流行によるパンデミックがおこり、世界中の人々を脅かしています。

そして現在、特別区自治情報・交流センターでは3密防止対策を徹底して、館内サービスを実施しています。

今回はその原因となったウイルスとはどのようなものなのか。当館所蔵の本書を基に、感染症の原因となるウイルスや細菌等について紹介します。

— ウィルス —

ウイルスは、微生物の中ではもっとも原始的であり、細胞内に寄生しなければ生きていくことができません。

一度ウイルスが宿主の細胞内に侵入すると何千ものウイルス粒子がつくられ、次々に他の細胞へと感染していき、宿主に大きな障害を与えます。ほとんどのウイルスは無害であるか、軽い症状を起こすだけであり、宿主の外にいたときはいとも簡単に消毒剤で破壊されてしまう弱い存在です。

しかし、一度感染するとたとえ抗ウイルス薬を使っても体から排除することは難しいのです。

— 細菌 —

細菌の多くは、ウイルスとは異なり、独立して共存することができます。そのため、生きていくに足る栄養さえ得られれば、人やその他の動物の体内だけではなく、環境中で増殖することも可能です。細菌は二分裂という方法で増殖し、条件が良ければ20分に一回分裂し、18~24時間たてば1,000万個の細菌へと増殖していきます。

特 徴

本書は、病原体をカラフルに記載し、死を引き起こす病原体の記載ページは背景が黒くしてあるなど、見ていて引き込まれるデザインです。

専門知識がない方でも病原体への理解と関心を深めるきっかけになるような1冊となっています。

抗ウイルス薬を作ることは難しい？

ウイルスは、宿主の細胞の合成機構を利用し増殖します。そのため、ウイルス増殖抑制に効果があり、人体に危害を加えない薬を作ることは難しいため、抗ウイルス薬は非常に少ないのです。

ウイルス、細菌は全て悪者なのか？

人は100兆個以上の細胞からできていますが、このうち自分の細胞は10兆個未満です。残る90%以上はウイルス、細菌等の正常細菌叢と呼ばれるものを構成している生物に由来する細胞です。

そのため、ウイルスも細菌も正常な体には必要な存在なのです。

★これらの資料は実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。

※特別区自治情報・交流センターの開館状況につきましてはHPをご覧ください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い！

クマなく さんぽ



豊島区

日本が誇る文化「マンガ」
そして「アニメ」の原点

「トキワ荘マンガミュージアム」

マンガの聖地として知られる伝説のアパート「トキワ荘」が、ミュージアムとしてよみがえりました。誰もが知る現代マンガの巨匠たちが、青春時代を過ごした場所で、彼らの当時の想いや昭和の暮らしに触れることができます。

マンガの聖地がミュージアムに

手塚治虫をはじめとするマンガの巨匠たちが、若き日々を過ごしたアパート「トキワ荘」が、昭和20年代の姿のままに再建され、この夏ミュージアムとして開館しました。トキワ荘は、老朽化が原因で1982年に解体されましたが、市民の声を受け、豊島区が2016年に建設の構想を発表しました。当時のトキワ荘からほど近い南長崎花咲公園内で2019年に着工し、今年7月7日に開館となりました。

伝説のアパートトキワ荘とは？

1952年に棟上げされたトキワ荘は、炊事場とトイレ共同、風呂なし、四畳半一間のアパートでした。1953年に手塚治虫が入居した後、藤子・F・不二雄と藤子不二雄[Ⓐ]、赤塚不二夫、石ノ森章太郎など若く才能あふれる多くのマンガ家が入居し、切磋琢磨しました。アパートでの暮らしそのものを題材にした書籍やマンガも多数出版され、トキワ荘はマンガを愛する人たちの聖地となっていきました。

トキワ荘を再現したミュージアム

マンガ家の部屋や、共同炊事場、トイレなどがあるミュージアムの2階は、トキワ荘の体験フロアになっています。再現展示のほかに、マンガ家体験コーナー（休止中）や、トキワ荘があった椎名町の歴史を紹介する常設展示室もあります。1階は、トキワ荘ゆかりのマンガや書籍などを配架したマンガラウンジと、マンガに関連した展示などを行う企画展示室からなります。

同ミュージアムは、マンガとアニメ文化を次世代に継承し発信する場として、まずは広い世代にトキワ荘を知ってもらうことを目指しています。今後は、日本のマンガやアニメを国内外に広める拠点となるよう、情報発信に取り組んでいく考えです。

ミュージアムの周辺には、ミュージアム関連グッズの販売を行う「トキワ荘通りお休み処」や、トキワ荘のマンガ家の作品を読むことができる「トキワ荘マンガステーション」、ゆかりのモニュメントやマンガ家が利用した飲食店などゆかりのスポットが点在するので、ミュージアム見学とともに散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。



20号室「よこたとくおの部屋」



廊下の両側に部屋が並ぶ



共同の炊事場



窓の外には当時の景色が描かれている



トキワ荘の紅一点だった、「水野英子の部屋(19号室)」

入館予約受け付け中

新型コロナウイルス感染症防止策として、現在入館は予約制とさせていただきます。ご予約は公式ホームページからお願いいたします。

公式ホームページ <https://tokiwasomm.jp/>

豊島区立トキワ荘マンガミュージアム

所在地 豊島区南長崎3-9-22南長崎花咲公園内
開館時間 10:00 ~ 18:00 (入館は17:30まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
入館料 無料(企画展は有料の場合あり)
アクセス 都営大江戸線落合南長崎駅より徒歩5分
お問合わせ 03-6912-7706



墨田区



クラシック演奏に最適な臨場感あふれる空間

すみだトリフォニーホールは、墨田区の文化施設として、また、東京東部地域における芸術文化活動の拠点として誕生しました。トリフォニーとは、3つの音が響くことを意味しています。市民、アーティスト、ホールの三者が互いに育み、刺激し合いながら独自の芸術を創造していく、というのがホールの名前に込められた思いです。

区と新日本フィルハーモニー交響楽団がフランチャイズ契約を結んでおり、ホールが同楽団の演奏活動の拠点となっていることでも知られています。



オーケストラなどの音楽演奏を主目的にした大ホールは、1801席を有しており、優れた音響性能を持つ世界に誇れるホールです。ほかに、小ホール、3室の練習室、17室の楽屋などが揃っています。大ホールには、オーケストラの響きとよく調和するパイプオルガンが配されています。随所に展示してあるアート作品も、一見の価値ありです。

すみだトリフォニーホール

所在地 墨田区錦糸1-2-3
開館時間 9:00～22:00
休館日 なし
アクセス JR総武線錦糸町駅より徒歩5分
お問合わせ 03-5608-1290



江東区



格調高くハイレベルな響きを堪能できるホール

オーケストラや、バレエ、演劇公演、各種コンサートなどを中心に使用されている大ホールは、江東区と芸術提携を結ぶ東京シティ・バレエ団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の本拠地としても知られています。小ホールは、発表会や各種イベントなど区民の利用が多く、こどもを対象としたオーケストラやバレエ教室の運営や区内小学校等へのアウトリーチも実施するなど、文化芸術の次世代育成にも力を入れています。



ティアラ(宝冠)のような外観を持ち、芸術・文化の宝冠として光り輝くようにと名付けられた「ティアラこうとう」は、定員1228人の大ホールと小ホール、楽屋、練習室、会議室、レストランからなる施設です。芸術文化の活動、発表、鑑賞の場として広く使用され、新たな地域文化、芸術の創造に取り組んでいます。

ティアラこうとう

所在地 江東区住吉2-28-36
開館時間 9:00～22:00
休館日 第1・第3月曜日(祝日の場合は開館)、12/29～1/3
アクセス 東京メトロ半蔵門線住吉駅より徒歩4分
お問合わせ 03-3635-5500



品川区



多彩な施設がそろう利用しやすい多目的ホール

「きゅりあん」は、1989年に建てられた8階建ての大型多目的文化ホールです。正式名称は品川区立総合区民会館であり、きゅりあんという名称は、一般公募により選ばれた愛称です。ラテン語の「集会所」を意味する「キュリア(curia)」が語源の造語で、『人が集まり、ふれあうように』とつけられました。区民をはじめとした人たちの、文化芸術、生涯学習、コミュニティ活動の場を主目的とし、大・小・イベントホール、会議室、講習室、茶室、調理室など、多様な施設が揃っています。



大規模の音楽・演劇・講演会などさまざまな催しに利用できるワンスロープ型の大ホールは、座席数1074席。ほかに、舞台の配置や大きさが演目によって変えられる可変式舞台の小ホールや、イベントホール、音楽スタジオ、大小の会議室、茶室、研修室など多目的な利用が可能な施設が充実しています。

きゅりあん

所在地 品川区東大井5-18-1
開館時間 9:00～21:30
休館日 12/29～1/3
アクセス JR京浜東北線大井町駅より徒歩2分
お問合わせ 03-5479-4100



Topics

東京23区で楽しむ、芸術と文化

東京23区の多目的ホール特集！
今回は計6区をピックアップします！

目黒区



目黒区柿の木坂に佇む、芸術文化拠点ホール

2002年に誕生した「めぐるパーシモンホール」は、芸術文化を媒介に人々のつながりを豊かにする拠点として、良質な芸術文化との出会いの場、日頃の練習とその成果を発表する場を提供しています。都立大学跡地に作られた複合施設「めぐる区民キャンパス」にあり、都心とは思えない豊かな光と緑に包まれたホールです。音と心地よさにこだわった大ホールでは、クラシックコンサートのほか、オペラ、バレエ、ミュージカルなど、さまざまな舞台芸術の公演を開催しています。



オーケストラピットを備えている定員1200名の大ホールは、さまざまな舞台芸術の公演に対応可能。日本初の吊り下げ式音響反射板を採用し、生の音の豊かな響きを重視しています。快適な半リクライニング式の座席も、特長のひとつです。コンパクトな小ホールや会議室、レストランなども併設しています。

めぐるパーシモンホール

所在地 目黒区八雲1-1-1
開館時間 9:00～22:00
休館日 12/29～1/3、年1回の点検日
アクセス 東急東横線都立大学駅より徒歩7分
お問合わせ 03-5701-2924



大田区



多目的な利用が可能な大田区の文化芸術の拠点

1998年、松竹キネマ蒲田撮影所の跡地に竣工した「大田区民ホール・アプリコ」は、区民が文化・芸術活動に親しむ場、地域文化創造の拠点として設置されました。大小のホールや展示室、スタジオや楽屋、控室を備えた区のパブリックホールとして、広く利用されています。アプリコのメインとなる全1477席の大ホールには、走行式音響反射板をはじめ、音に対するこだわりが随所にちりばめられており、クラシックをはじめとするコンサートや、ミュージカル、演劇公演などに利用されています。



大ホールのほかに、昇降式舞台を備え演奏会やピアノの発表会、講演会、研修などに最適な小ホールや、フラットなスペースの展示室、練習室として最適なスタジオなども備えています。楽屋や控室も完備しており、充実の施設となっています。

大田区民ホール・アプリコ

所在地 大田区蒲田5-37-3
開館時間 9:00～22:00
休館日 12/29～1/3、保守点検、清掃日、臨時休館あり
アクセス JR京浜東北線蒲田駅より徒歩3分
お問合わせ 03-5744-1600



世田谷区



駅近の好立地にあり、使い勝手抜群のホール

区民の憩いの場として永く親しまれている北沢タウンホールは、最寄り駅より徒歩5分の好立地にあり、仮設ステージや稼働椅子などを備え、レイアウトの自由度が高く多種多様な舞台に対応可能で、各種コンサートをはじめ、講演会、団体の各種行事など、さまざまな目的で利用されています。区民の福祉増進と文化の向上を目的としてつくられた同施設には、最大294席設置可能なホールのほか、集会室、ミーティングルーム、眺望抜群なスカイサロンが設けられています。



約300平方メートルのフラットなスペースに、仮設ステージ、電動可動椅子と移動椅子を備えるホールは、レイアウトの自由度が高く、さまざまな舞台に対応可能です。多種多様な舞台演出効果を生み出す設備も充実しており、年間を通してコンサートや演劇、スポーツなどの目的で利用されています。

北沢タウンホール

所在地 世田谷区北沢2-8-18
開館時間 9:00～22:00
休館日 第1・3月曜日(祝日の場合翌日)、12/28～1/4
アクセス 小田急線下北沢駅より徒歩5分
お問合わせ 03-5478-8006



特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターのご利用について

特別区自治情報・交流センターでは、開館日や開館時間に変更になる場合があります。
 ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館いただくようお願いいたします。

(公財)特別区協議会ホームページ

<http://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センターホームページ

<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。
 どなたでも自由にご覧いただけますが、日程が変更になる場合もあります。
 当協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

東京都公文書館パネル展示 「守る・伝える 東京のアーカイブズ～ 東京都公文書館所蔵資料の成り立ち」

主催 東京都公文書館、(公財)特別区協議会
日時 令和2年10月6日(火)～11月9日(月)

特別区全国連携プロジェクト 令和2年度 全国連携展示(広島県町村)

主催 特別区長会
 (公財)特別区協議会
日時 令和2年11月13日(金)
 ～12月24日(木)



特別区制度改革20周年記念 特別区自治情報・交流センターブックレット5巻セット無料配布中

特別区は、平成12(2000)年に「基礎的な地方公共団体」となりました。今年は20年目の節目の年に当たります。ブックレットは、特別区が昭和27(1952)年に自治権を失ってから再び手にするまでの改革の道のりやこれからの特別区の可能性など特別区制度をつづった小冊子です。特別区制度改革20周年を記念して、5巻セットで特別配布しています。

5巻セットの内容

- 第1巻 「連合制度」と「基礎自治体連合」
- 第2巻 特別区制度改革の軌跡
- 第3巻 大都市制度改革と特別区
- 第4巻 自治体間連携の可能性を探る
- 第5巻 特別区が歩んだ自治のみちのり



配布場所

特別区自治情報・交流センター(東京区政会館4階)

なくなり次第、終了させていただきます。

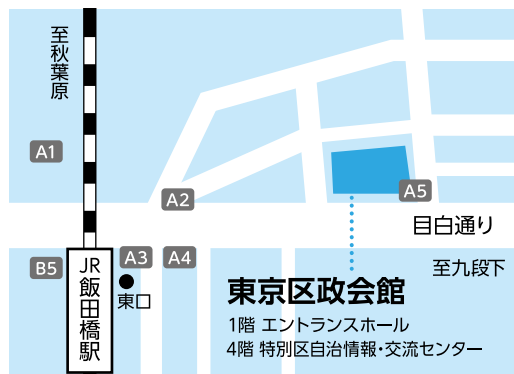
編集後記

前号から、「東京23区で楽しむ、芸術と文化!」をテーマに東京23区の多目的ホールを紹介しています。演劇・音楽等のスケジュールについては、区や各施設のホームページ等でご確認ください。(K、K&H)

特別区自治情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館
 開館時間: (4階)9:30～20:30
 (土曜日は9:30～17:00)
 休館日: 日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
 東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
 東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
 都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
 JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分